

## □ 健全化判断比率および資金不足比率の状況

健全化判断比率などは、地方自治体の財政破たんを未然に防ぐために制定された財政健全化法に基づき算出されるものです。平成 29 年度決算に基づく「健全化判断比率の 4 指標」と「3 会計の資金不足比率」を公表します。

**実質公債費比率**…大月東中学校整備事業の元金返済が始まったことや固定資産税、普通交付税などの減による標準財政規模の減少により悪化しました。平成 25 年度の市土地開発公社解散清算に伴う、約 22 億円の多額な借入時に作成した長期の財政見通しでは、平成 29 年度の 20% をピークに、27 年度から 31 年度の 5 年間にわたり 18% を超える推計でした。この財政見通しを踏まえた上で、これまで市民への行政サービス低下につながらないように、効率的な財政運営に努めながら指数の抑制をしてきましたが、今回、実質公債費比率が 18% 以上となったことから、公債費負担適正化計画の策定が必要となりました。

**将来負担比率**…事業費削減により新たな借入を抑制したため、地方債残高が減少し改善されています。

**資金不足比率**…病院事業において資金不足額が 3,938 万 8 千円生じたため、資金不足比率が 1.9% となりました。

今後も防災行政無線のデジタル化などが予定されていますが、事業の優先順位を見極め、市債発行額の抑制、歳入の確保や徹底した歳出の削減など、公債費負担の適正な管理に努め、市民サービスの継続を図りながら、実質公債費比率を早期に 18% 未満に引き下げることを目指して、計画的で効率的な財政運営に取り組んでいきます。

### ◆健全化判断比率

(単位：%)

指標名	内容 (標準財政規模に対する割合)	健全化判断比率 (前年度)	早期健全化基準 (イエローカード)	財政再生基準 (レッドカード)
①実質赤字比率	普通会計の赤字額の大きさ ※赤字額がない場合は、「-」	- (-)	13.78	20.00
②連結実質赤字比率	公営企業会計などを含む赤字額の大きさ ※赤字額がない場合は、「-」	- (-)	18.78	30.00
③実質公債費比率	借金の返済に充てた額の大きさ	18.3 (17.8)	25.0	35.0
④将来負担比率	将来負担すべき借金などの大きさ	157.1 (161.2)	350.0	

※標準財政規模とは、地方公共団体の一般財源規模を表すもので、標準的な税収入額などと普通交付税、臨時財政対策債発行可能額の合計です

※普通会計とは、公営事業会計以外の会計の総称であり、本市では一般会計と大月短期大学特別会計が該当します

### ◆資金不足比率

(単位：%)

指標名	内容	病院事業	簡易水道事業	下水道事業	経営健全化基準
資金不足比率	事業規模（通常の営業で見込まれる 1 年間の収入額）に対して資金不足額が占める割合 ※資金不足額がない場合は「-」	1.90 (-)	- (-)	- (-)	20.0